

かわはら先生の 核ゴミ出前授業

—北海道における核ゴミと処分場問題のゆくえ—

かわはらしげお

原発出前授業のかわはらしげお



福島の親子の保養活動を札幌で！チャリティイベント

5000

かわはらしげお先生の出前授業

回達成記念！ スペシャル授業 in エルプラザ

3・11福島第一原発の事故をきっかけに2011年5月から始めた「かわはら先生の出前授業」が、ついに5000回に到達します。それを記念にしてのスペシャル授業を札幌エルプラザ3F大ホールで実施します。今回は、この8年間毎年福島を訪問して実際に見てきた現地の様子や現地の住民の皆さんの声を紹介する「いま福島はどうなっているのか」という授業を行います。同時開催として札幌在住の素敵なミュージシャンによる素晴らしい音楽によるチャリティライブも行われます。是非ともご参加下さい！

かわはら先生の出前授業

「いま福島はどうなっているのか」

一時間目 14:40～15:20 「浜通り篇」

二時間目 18:40～19:20 「中通り篇」

日時 2020年3月28日 土

会場 札幌エルプラザ3F大ホール
(札幌市北区北8条西3丁目 JR札幌駅北口正面)

参加協力券 2,000円 (当日 2,500円)

昼の部 (1時間目)・夜の部 (2時間目) どちらでも参加可能です。
当日の収益はすべて福島の親子の保養活動の支援に寄付されます。

チケット販売：道新プレイガイド、教文プレイガイド

チケット予約・問合せ：skawahara1217@nifty.com / 090-8278-4990 (川原茂雄)



同時開催 「福島の子どもたちを守りたい！チャリティライブ 2020」

昼の部 開場13時30分 開演14時00分

出演者：福本ゆめ (二胡演奏) Tuck Hersey Acoustic Band (昭和歌謡+ビートルズナンバー)

夜の部 開場17時30分 開演18時00分

出演者・小林美由紀 (Jazz vocal) 小郷正彦 (Acoustic guitar) 杉田知子 (Violin) 福田樹子 (Piano)

主催：福島の子どもたちを守る会・北海道

事務局：自然エネルギーと泊原発を考える市民の会・Shut 泊、脱原発をめざす北電株主の会

かわはら先生の 核ゴミ 出前授業

in 寿都町

原発出前授業で有名なかわはらしげお先生が寿都町にや
ってきます！ 今回の授業のテーマは「核ゴミ」です。小中学
生からお母さんお父さん、おじいさんおばあさんまで、誰に
でもわかりやすく面白く授業してくれます。是非ともご参
加ください。



日時：2021年4月29日(木・祝)
午前10時～12時

会場：寿都町総合文化センター 2階会議室

参加費：無 料

◆かわはらしげお先生プロフィール

札幌学院大学人文学部教授。1957年北海道長沼町生まれ。
1980年より北海道内の高校教師として社会科を教える。2011年から市民に向けての「原発出
前授業」を開始し、その回数は10年間で500回を超えている。2015年より現職。著書：『か
わはら先生の原発出前授業①②③』明石書店、『原発と教育』（海象社）他

主催：子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

高レベル放射性廃棄物はどこへ？

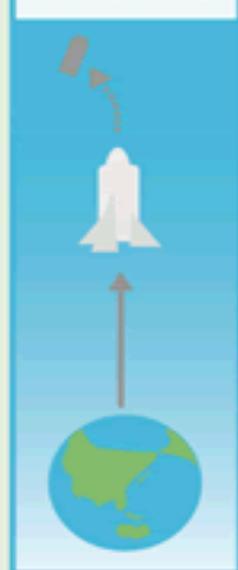
人間による管理を必要としない

地層処分



- 地層が本来もっている、物質を閉じ込める能力を巧みに利用。もっとも問題点が少なく実現可能性がある。

宇宙処分



- 発射技術の信頼性などに問題がある

海洋底処分



- 廃棄物などの海洋投棄を規制しているロンドン条約により禁止

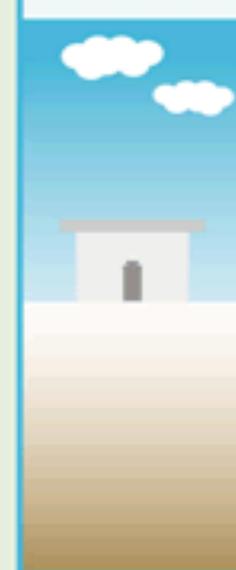
氷床処分



- 南極条約により放射性廃棄物の南極への処分禁止
- 氷床の特性などが不明確

人間による管理

長期管理

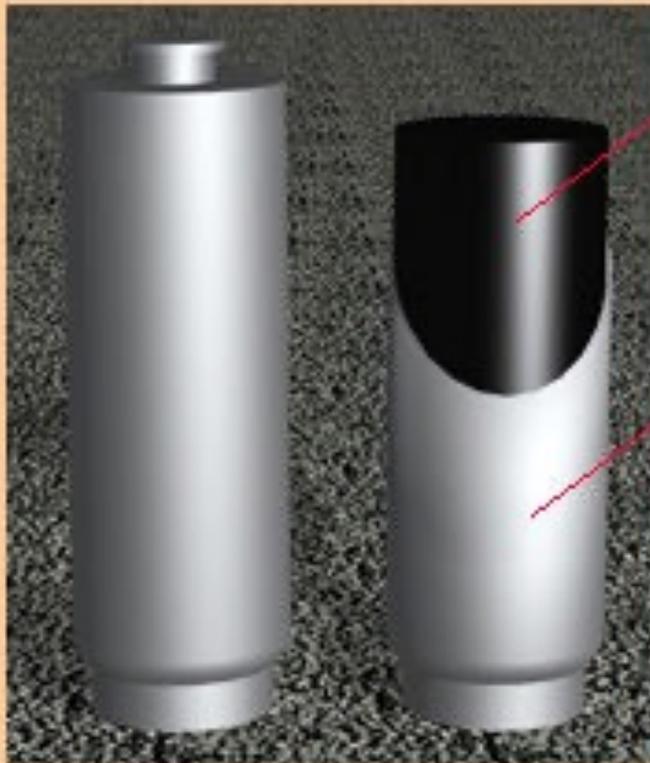


- 人間による恒久的な管理は困難
- 将来世代にまで監視の負担を負わせる

深い地層の底に埋めてしまう？

- 「注」
- 再
- ガ
- ス
- こ
- じ
- 無

高レベル放射性廃棄物（ガラス固化体）



固化ガラス

ホウケイ酸ガラスを使用して
高レベル放射性廃液をガラス
状に固めたもの

キャニスター

ステンレススチール製容器

寸法：外径/約40 cm

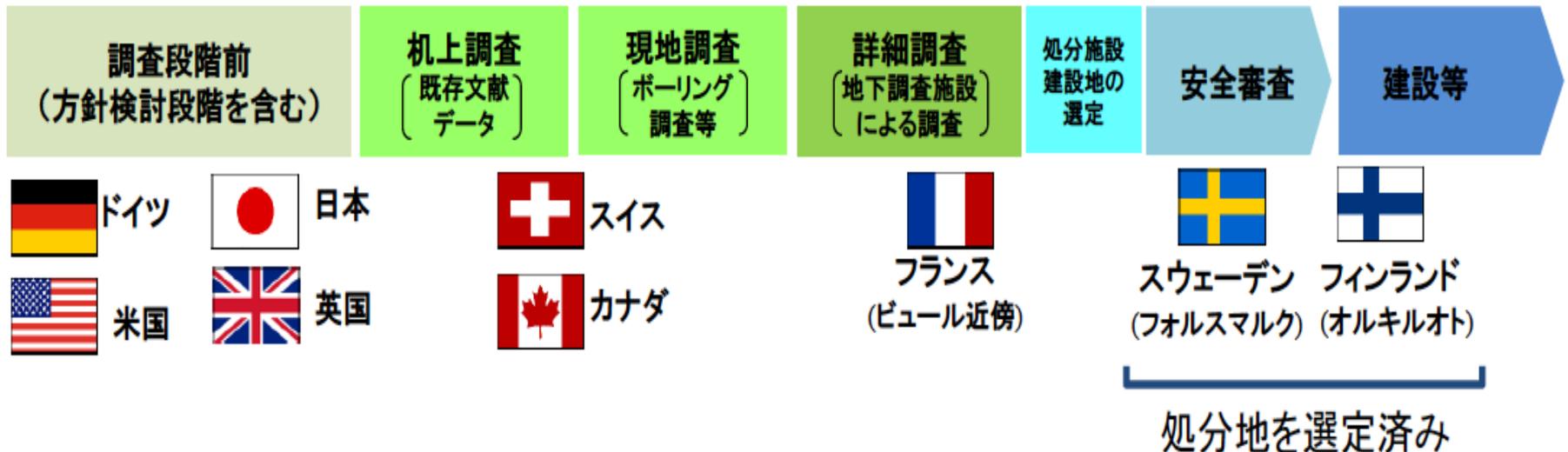
高さ/約1.3m

総重量：約500 kg

を
閉
る

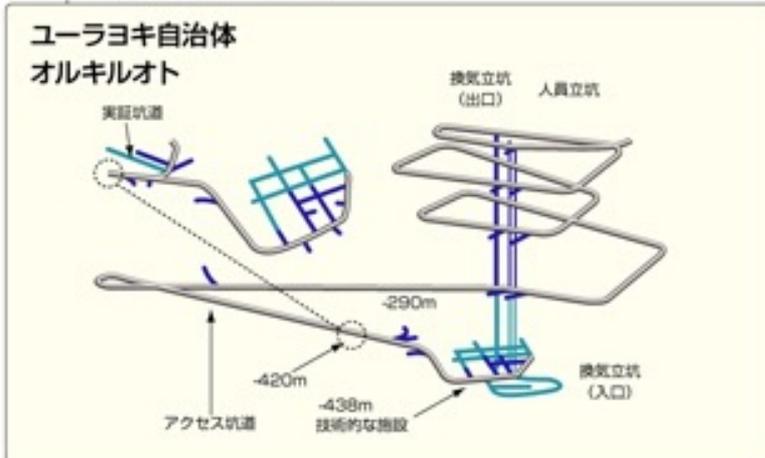
プルトニウムの半減期は2万4千年！

- 16分の1以下になるまで10万年以上！
- どこにどうやって埋めて、保管するのか？
- 世界でも最終処分地は、ほとんど決まっていない



唯一決まっているがフィンランド オルキルオトの処分場

図23 フィンランド・オルキルオトの高レベル放射性廃棄物処分場



未来のみなさんへ・VALMET

ここは21世紀に処分された放射性廃棄物の埋蔵場所です。
決して入らないでください。

緊急上映!

震災から生まれる
放射性廃棄物の
危険について
—フィンランドの場合—

INTO ETERNITY

2014年
フィンランド
環境省
「放射性廃棄物の
処分」

100,000年後の安全

監修 岡本 雅也 脚本 岡本 雅也 演出 岡本 雅也 制作 岡本 雅也 編集 岡本 雅也
出演 岡本 雅也
制作 岡本 雅也
制作 岡本 雅也 岡本 雅也



- 下川町高レベル放射性廃棄物問題
- 廃坑が予定されていた三菱の銅山に
- 使用済み核燃料の地下投棄の計画
- 地元名寄新聞と北海道新聞が報道
- 地元住民の反対運動(地区労など)
- 道議会でも大問題となる
- 町長も反対の立場を表明
- 実験のみで投棄はしないことに

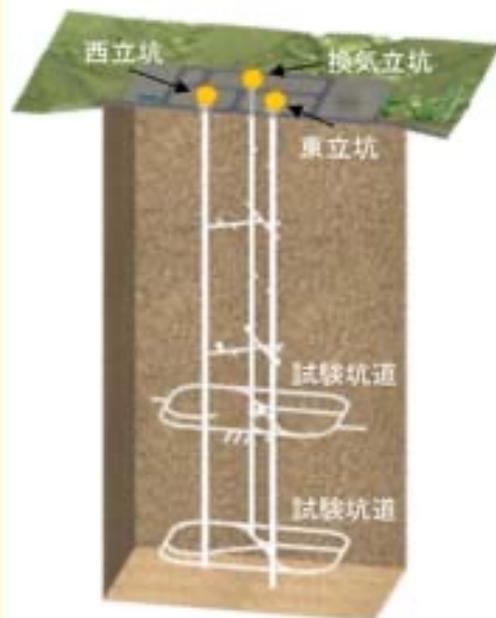
1982年・幌延町長が誘致を表明

- 町議会も貯蔵施設の誘致を決議
- 周辺自治体や道民の大きな反対運動がおこる→「難しい」条例制定へ
- しかし「貯蔵実験施設」はつくることに
- あくまでも「研究と実験」だけというが
- 2001年幌延深地層研究センター開所

「幌延深地層研究センター」



地下施設イメージ図



※このイメージ図は、
今後の調査研究等の結果次第で
見直すことがあります。

平成17年11月9日掘削開始

施設平面図



PR施設イメージ図

建設中

平成17年11月15日着工



研究管理棟外観イメージ図

【平成18年2月完成】

201
2月14

発行所 北海道
札幌市中央区
〒060-8711 電話
www.hokkai

読者サービス
011-21
ご購読
0120-4

600P
道新の本



特急の煙 原因はベルト発熱
いじめ対策と道徳
9 34

きよ
福島復興
「風と心」
経済12.1
四番・持
おくやみ
天
きのうの
気温 3
きょうの
札幌
小

深地層研基準超ガス

幌延掘削工事を中断

6日発生

【幌延】日本原子力研究開発機構の幌延深地層研究センター（宗谷管内幌延町）の地下350mの調査坑道で6日、メタンガス濃度が自主基準を超えたため、掘削工事を中断して作業員を避難させ、14日まで掘削工事が中断していることが同日、分かった。作業員にけがはない。メタンガス濃度の上昇などで掘削の1週間以上が中断は初めて。



同センターによると、通常時の毎時8立方分の倍に当たる毎時15立方分に増えた。地底に含まれていたメタンガスが揮発して坑内に遊離した。約1時間内のガス濃度が上昇し、基準値の1.5%を超えた。濃度は1.5%以上の状態が5分を超え、7日は最大で毎時60立方分、9日から止水

幌延深地層研究センター 日本原子力研究開発機構が2001年開設。原発の使用済み燃料の再処理で生じる高レベル放射性廃棄物をガラス固化体に対し込め、地中深く埋める技術の研究期間が約30年間。現在は地下350mの坑道掘削や岩盤、地下水調査を実施。同様の施設ではセンターに放射性物質をもち込まない三者協力が結ばれている。

幌延深地層研究センターの地下施設



掘削工事を始め、流出量は低下した。7日以降はガス濃度の基準値超えはなかった。14日は地下水流出があった。深さ350mの坑道で止水などの坑内作業は続けるとも、同機構は7日に掘削



の中断を道や幌延町なう約束があり、今回も「14日に」と連絡した。幌延町速やかに報告が町に来て知った。の宮本明町長は「平常」と述べる。同町に「いなか」とは違う変化が何かある。隣接する上川管内中川町周辺の町は「川口精進町長はなかった」と報告しますとい

本当に研究だけなのか？

- 2001年から20年程度とされていた研究計画だったのだが、、、
- 2028年ごろまで延長することに
- これから地下500mまで掘り進める？
- この20年間に町に落ちた交付金は30億円！
- 固定資産税は21億円！
- それでも人口減少・過疎は止まらない！
- 本当に研究だけで、最終処分場にはならないのか？

北海道における特定放射性廃棄物に関する条例(核ぬき条例)

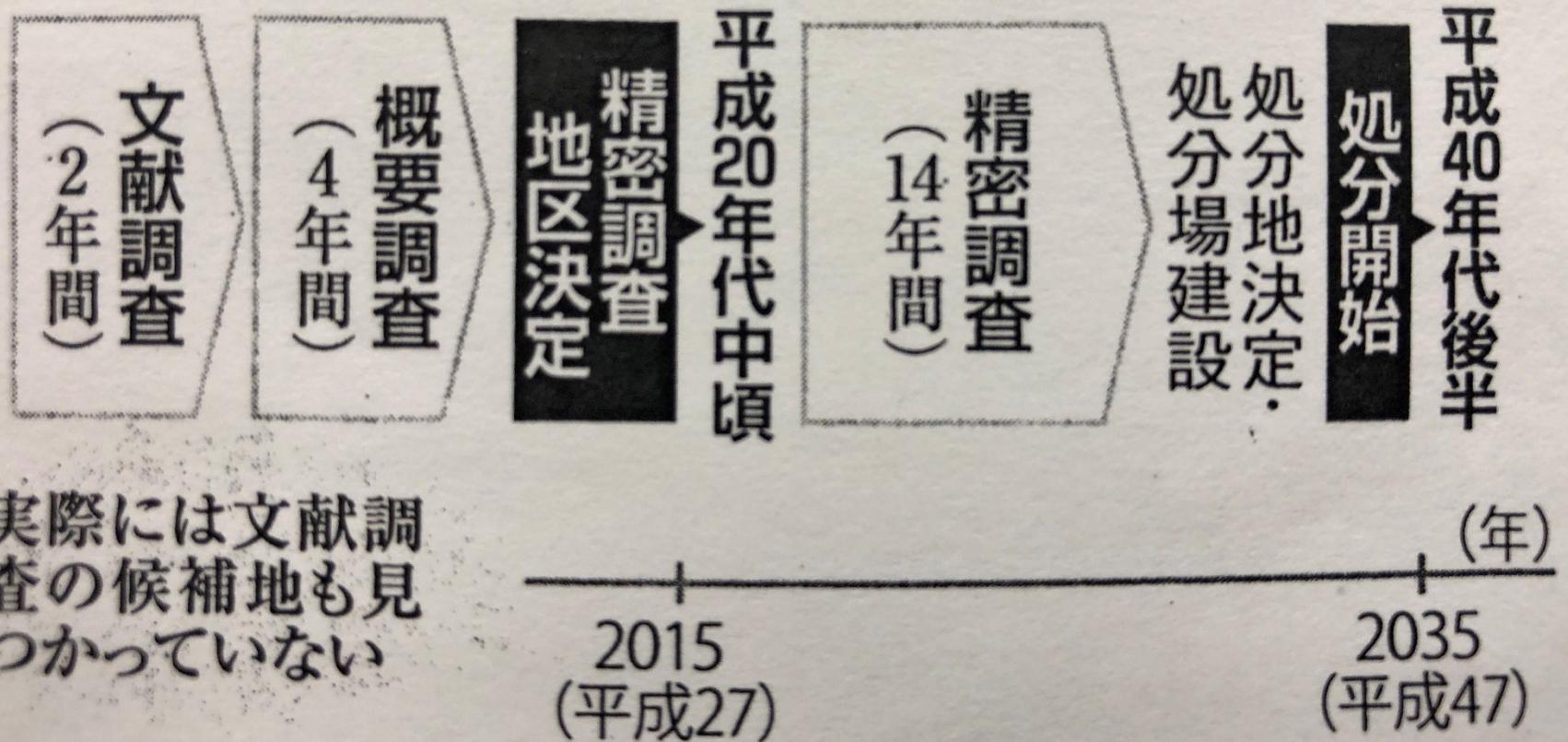
- 「私たちは、健康で文化的な生活を営むため、現在と将来の世代が共有する限りある環境を、将来に引き継ぐ責務を有しており、(中略)特定放射性廃棄物の持ち込みは慎重に対処すべきであり、受け入れがたいことを宣言する」(2000年10月制定)

核ゴミ最終処分場問題

処分場の場所はどうやって決めるの？

- 2000年「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律（最終処分法）」が制定
- 「原子力発電環境整備機構（NUMO）」が設立
- 最終処分場の選定から最終処分の実施・管理など最終処分事業を全般をおこなう事業体
- 「原子力環境整備促進・資金管理センター」
- 放射性廃棄物処分に関わる調査研究と資金管理を行う団体。略称は「原環センター」

2008年に定めた処分計画のスケジュール



なかなか出てこない候補地

- 2007年、高知県東洋町の町長が応募
- 町内外からの反対の声ー町長の辞職勧告
- 反対派の町長が応募の撤回
- その後、いくつかの自治体で応募検討の動きがあったが、いずれも住民の反発で立ち消えとなっている
- 「頬を札束でたたく」やりかた
- 文献調査に応募すると年10億円(計20億円)
- 2007年にそれまでの年2.1億円を5倍に！

交付金というエサをぶらさげる？

- 文献調査(2年間)で最大20億円の交付金
- 概要調査(4年間)で最大70億円の交付金
- 精密調査(14年間)で年間で500億円？
- 処分場の設計・建設・操業費などで、立地する自治体には9000億円を超える直接的な支出があり、波及効果を含めると2兆円を超える経済効果があると試算されている(NUMOによると)

寿都町の町長が応募を検討！

5:03

「核のごみ」反対の声相次ぐ | TV7 NEWS

ACT for HOKKAIDO
いよ、であること、勇気で
新型コロナ特設サイト



片岡町長

人口減少が続く厳しい財政状況を説明
→ 文献調査で最大20億円の交付金を得られる意義を強調

鈴木直道北海道知事は

- 「一か月程度で半
- 国の手法は「頼を
- 核抜き条例があ
例の)考え方とは
- 文献調査から概
ら意見を求められ
の意見を述べる」
- 経産省に書面での回答を要望する



お金だけもらってやめられるのか？

5:04

ACT for HOKKAIDO
いま、できること、力で
新型コロナ特設サイト



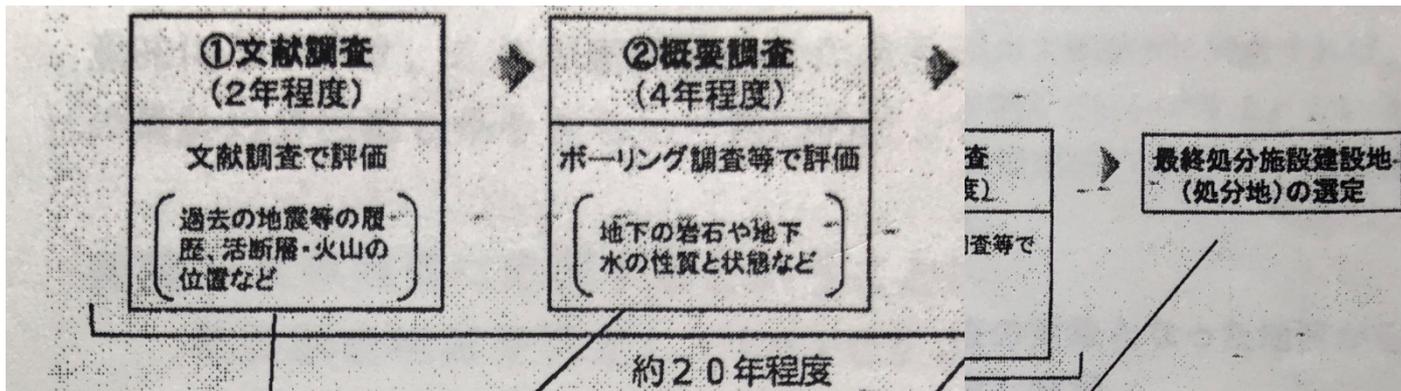
「核のごみ」反対の声相次ぐ | TVH NEWS

片岡 春雄
町長

Q 交付金をもらった後でも調査はやめられるのか？
わたしはそのように解釈している

核のゴミ最終処分法の真実

- 正式名称「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」200年7月7日制定
- 「文献調査」と次の段階の「概要調査」は独立したものではなく、強かに連続している
- 「文献調査を行い、その対象地区の中から概要調査地区を選定する」(第6条)
- 「文献調査」は、概要調査地区選定段階という枠内の作業なのです。



※各調査段階において、地元自治体の意見を聴き、これを十分考慮した上で進め、必要に応じて次の段階へ進まない。

＜これが正確な最終処分法の構造＞ 文献調査地区選定作業の一部です。

①概要調査地区 選定	②精密調査地区 選定	③最終 建設	④最終処分 施設設置 第9条	⑤最終処分 実施 第16条～
第6条	第7条		選定された最終処分施設建設地に最終処分施設を設置する。	処分実施 閉鎖 施設保護 その他
文献調査を行いその対象地区（文献調査対象地区）の中から概要調査地区を選定する。	概要調査地区を対象に概要調査を行い、その中から精密調査地区を選定する。	精密調査地区に精密調査を行い、その中から最終処分施設建設地を選定する。		

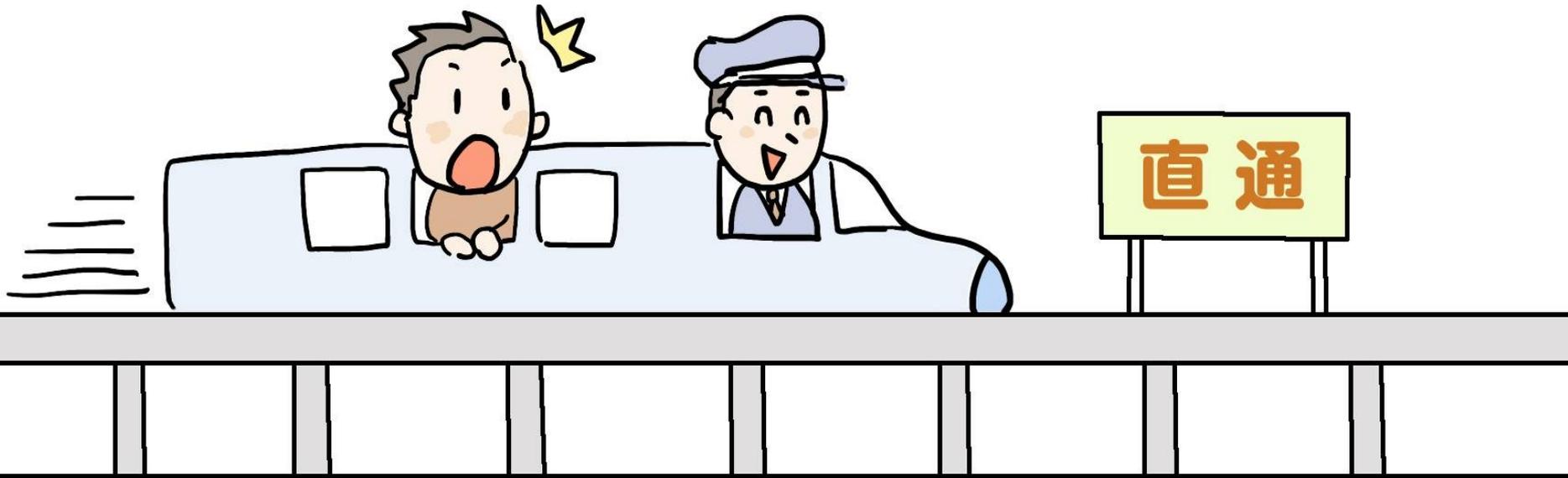
（第2項2号、4条5項）
このため③の最終処分施設建設

途中下車はできない特急列車

- 「文献調査」に応募するということは、「その文献調査の対象となった地区から概要調査地区を選んでください」という申し出
- 「文献調査」に応募してしまうと、自動的に連して概要調査に進んでしまう構造
- 「文献調査駅」から特急列車に乗ってしまうと自動的に「概要調査駅」に行ってしまう
- そこで途中下車することはできない！

特急最終処分場号

途中下車できません!



そのまままっすぐ終着駅へ！

- 「概要調査地区を対象に概要調査を行い、その中から精密調査地区を選定する」(第7条)
- 「精密調査地区を対象に精密調査を行い、その中から選定する」(第8条)最終処分施設建設予定地
- 「選定された最終処分施設建設地に最終処分場施設を建設する」(第9条)
- 一度乗って(応募して)しまうと、自動的に終着駅(最終処分場)まで行ってしまう！

終着駅は最終処分場！

途中下車できません



知事と町長の意見は聴いてくれるの？

- 「経済産業大臣は・・・概要調査地区等の所在地を定めようとするときは・・・管轄する都道府県知事及び市町村長の意見を聴き、これを十分に尊重しなければならない」(第4条)
- 「文献調査」から「概要調査」に進む時、知事や町長が反対しても「一時停止」することはあっても、後戻りも降りることもできない
- 賛成するか、賛成の知事・町長に代わるのを待って次の段階にすすむことになる

政府は選定から離脱を明文化せず

小説 16版

2021年(令和3年)2月6日(土曜日)

北海道新聞

核のごみ
どうへ

選定から離脱 明文化せず

処分場問題「法令で定めぬ」閣議決定

るかどうかについて、「反対意思の伝達手続きを法令で定める考えはない」とする答弁書を閣議決定した。どうすれば離脱できるのか、具体的に明文化しないことで、選定のレールから逃れさせまいとする国の姿勢があらためて明確になった。

立憲民主党の逢坂誠二氏の質問主意書に答えた。

経済産業省は昨年11月、第2段階の概要調査に移行する場合の政府方針などを確認する鈴木直道知事の申し入れ書に対し、概要調査に進む際は「知事や当該市町村長が反対であれば選定プロセスから外れる」と明記した梶山弘志経産相名の回答文書を道に送付した。ただ、経産省は北海道新聞の取材に対し、プロセスから外れた後でも、知事や市町村長の意向が賛成に変わり、概要調査に必要なデータがそろえば「調査を再開させる可能性もある」（放射性廃棄物対策課）と説明している。

逢坂氏は「プロセスから外れる」との文言について、単に概要調査に進まないとい

ところが明らかでない」として明確な回答を避けた。

また逢坂氏は、プロセスから完全に離脱するための具体的な手続きを法令として設ける考えはないのかたどしたが、政府は「知事や当該市町村長の意見に反して概要調査地区の選定は行わないため、法令は設けない」との回答にとどめた。

原子力の問題に詳しい札幌の山本行雄弁護士は「プロセスから外れる」が意味するところを法令で規定せず曖昧にしているは、政府に都合良く解釈されかねない。文献調査を行った自治体は選定と完全に縁を切ることができなくなる」と指摘する。（佐々木馨斗）

決して乗ってはいけない 特急最終処分場号

途中下車できません!



文献調査が始まった！！

8:33

核のごみは
問いかける

賛否なお渦巻く中
初の文献調査始まる

どさんこワイド

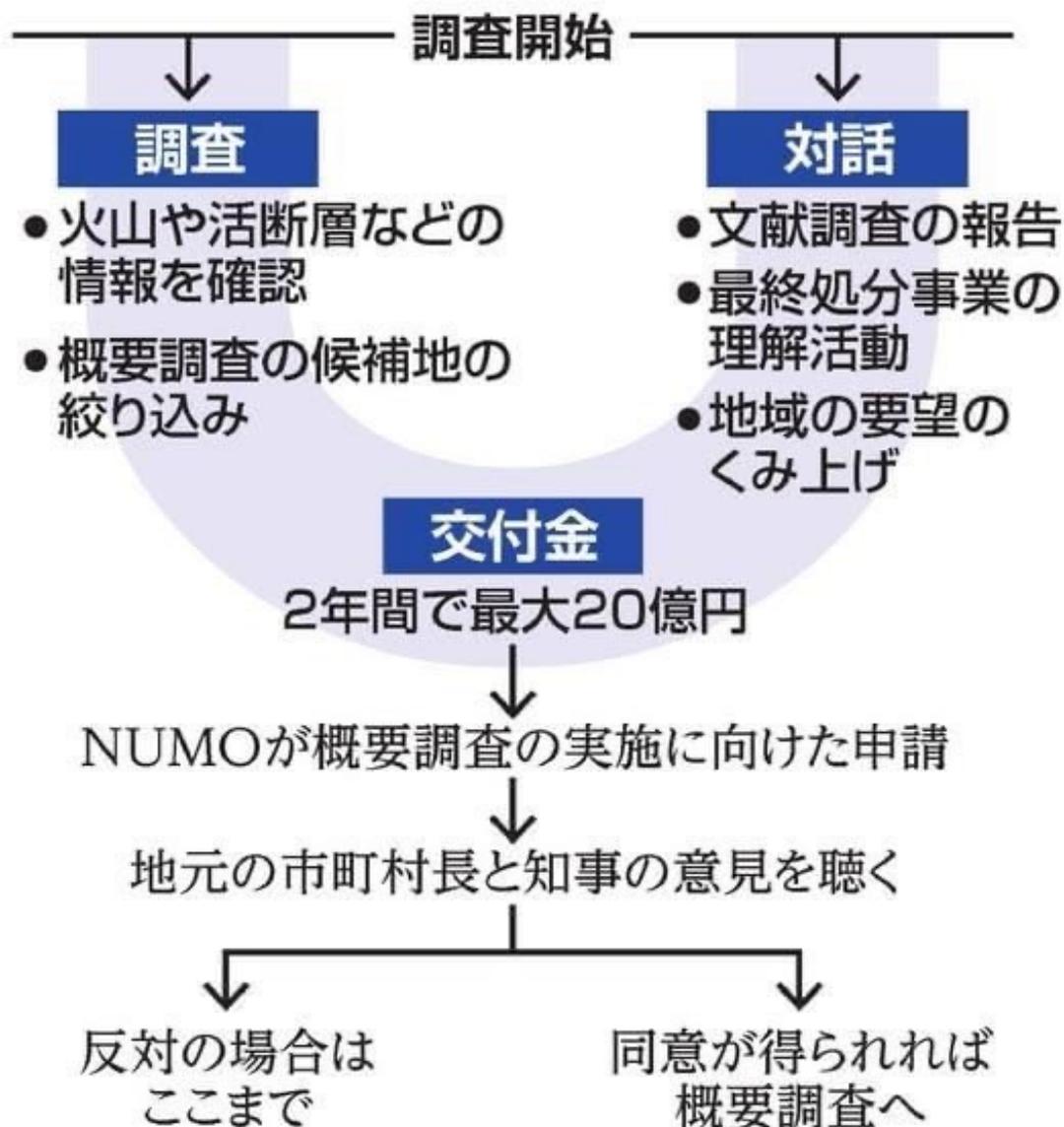
寿都町・神恵内村の文献調査

- きのう開始～最大2年
- 論文や地質図を使って調査
- NUMOが現地に拠点設置



「核のごみ」最終処分場選定の文献調査とは

原子力発電環境整備機構 (NUMO) などの資料による



寿都町の「対話の場」

- 町とNUMOが主催する
- 参加メンバーは20名
- 町議9人
- 漁協、水産加工業者組合
- 商工会、建設協会、観光物産協会
- 福祉団体、町内会、まちづくり団体
- それぞれの代表者

核ゴミ交付金（年間10億円 × 2）

- 寿都町－今年度の10億円のうち
- 9億2500万円を一般会計に計上
- 2億4000万円を保健師や消防士の人件費などにあてる
- 6億8400万円は将来のための基金に積立
- のこりの7500万円は隣の岩内町に配分
- 隣の島牧村、黒松内村は配分を拒否

寿都町の町民の会



周辺町村では「核抜き条例」が！

- 黒松内町
- 蘭越町
- 島牧村
- 積丹町
- 倶知安町
- 古平町

新聞 (夕刊) 第3種郵便物認可

島牧核抜き条例可決

12/15
村議会 寿都、神恵内周辺で初

【島牧】後志管内島牧村議会(定数8)は15日の本会議で、一部村議が提出した、原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の受け入れを拒否する条例案を賛成多数で可決した。核のごみの最終処分場選定に向けた文献調査が進む同管内の寿都町や神恵内村に隣接する自治体で同様の「核抜き条例」制定の動きがある中、可決は初めて。放射性物質の村内への持ち込みや処分・保管に関する調査、施設建設を認めないことを村に義務付ける。(久慈陽太郎)

「島牧村に放射性物質等を持ち込ませない条例」で、同日開会の定例村議会で議長を除く過半数の4人が賛成した。隣接する寿都町の文献調査を止める効力はないが、国や調査の事業主体

「(NUMO)、寿都町に対し、村として最終処分場の調査や建設を拒否する立場を明確にした形だ。寿都町と神恵内村の周辺では、同管内黒松内町の町

議事が核抜き条例案を継続審議中で、来年1月下旬から2月に開かれる臨時会で可決される見込み。同管内の蘭越、積丹の両町議会にも年明け以降に提出される見通しだ。寿都町は今年11

核のごみの受け入れを拒否する条例案を賛成多数で可決した島牧村議会＝15日午前11時45分(伊丹恒撮影)

日開会の定例町議会で提案されるが、否決される公算が大きい。

核抜き条例は既に道と日高管内浦河町、上川管内美瑛町、宗谷管内幌延町が制定しており、島牧村は道内5例目。

札幌中央郵便局に設置された特設ポストに年賀状を投函する市民＝15日午前9時20分、札幌市東区(中村祐子撮影)

年賀専用ポスト

町を二分した町長選挙

- 片岡春雄氏(72歳)現町長・5期20年
- 核ゴミは争点ではない
- 町の地域経済の立て直しをめざす
- 越前谷由樹氏(70歳)町議・元助役
- 「町長は肌感覚という独断で文献調査に応募し、町民の分断を招いた」
- 「核のゴミに翻弄されない町をとりもどさなければならぬ。まずは調査は撤回する」

寿都町長選の結果

- 当選 片岡春雄氏 72歳 1,135票
- 越前谷由樹氏 70歳 900票
- 有効投票数 2035票 投票率84.07%
- 235票差という結果—想像以上の苦戦？
- 「相当厳しい票差。調査応募の進め方に少し焦りがあった」(片岡氏)
- 核ゴミ処分場については賛成している人は多くはなく、交付金だけもらって調査から降りれば良いと考えているのか？

神恵内村長選挙

- 高橋昌幸氏(71歳)現村長・5期20年
- 6選をめざして出馬表明
- 概要調査へは村民の意見を聞いて判断したい。「住民投票」も一つの手段。
- 対立候補は出るのか？
- 瀬尾英幸氏(79歳)泊村在住・脱原発活動家
- 無風で終わってはならない！最終的には調査を撤回したい。概要調査には断固反対！
- 36年ぶりの選挙戦→高橋氏の圧勝(559対48)

秋には2年になる文献調査

- 今年の11月には2年になる文献調査
- どのようなかたちで報告されるのか？
- 町村長の意見はどのように聞かれるのか？
- 道知事の意見はどのように聞かれるのか？
- 町民村民の意見はどのように聞かれるのか？
－「住民投票」は行われるのか？
- 北海道民の意見はどのように聞かれるのか？
- 北海道知事への要請署名が始まります！

日本学術会議の見解(2012年)

- 「原子力発電をめぐる大局的政策についての合意形成に十分取り組まないまま高レベル放射性廃棄物の最終処分地の選定という個別的課題について合意形成を求めるのは、手順として適切でない。逆転している」

日本学術会議の提言

(6-2)合意形成に向けた組織体制

高レベル放射性廃棄物の問題解決のためには、エネルギー政策・原子力政策における広範な社会的合意形成が不可欠であるが、そのために多くの市民が参加可能な**「核のごみ問題国民会議」**を設置すべきである。

「核のごみ問題国民会議」では、**核のごみ処分地**の選定の在り方および**原子力エネルギー利用の将来像**(原子力に依存しないエネルギー政策を積極的に探るのか、原子力依存度の低減をどのようなテンポで進めるのか)について、国民の合意形成に携わること。

核ゴミ問題を考える 北海道会議設立集会

2021.3.14 日

札幌エルプラザ3F大ホール
(北区北8条西3丁目)
18:30～(開場18:00～)

北海道の寿都町と神恵内村で、あいついで核のゴミ(高レベル放射性廃棄物)の最終処分場の文献調査の受け入れが決まりました。北海道では特定放射性廃棄物の持ち込みを受け入れ難いことを宣言した条例があります。この問題はふたつの自治体だけでなく近隣地域や北海道全体に関わる大きな問題です。核ゴミ問題について多様な立場や意見を持つ人々が参加して、学び合い、対話して論議を深めていきながら、合意形成をはかっていく場としての「核ゴミ問題を考える北海道会議」を立ち上げたいと思います。設立集会では呼びかけ人代表である前札幌市長の上田文雄さんからの提言を頂き、呼びかけ人の皆さまからアピールをして頂きたいと思います。

提言

「北海道で核ゴミ問題を考えるということ」



上田 文雄さん
(前札幌市長・弁護士)

<上田文雄さんプロフィール>

1948年幕別町出身。中央大卒。1975年司法試験に合格し、弁護士となる。
1985年幌延町の高レベル放射性廃棄物貯蔵施設の誘致反対運動や泊原発3号機建設反対運動に積極的に参加してきた。2003年から3期12年間に札幌市長として札幌に市民自治を根付かせてきた。市長退任後は、一人の市民運動家として、様々な市民団体とともに市民自治を実践している。

<呼びかけ人> (順不同)

- 上田文雄さん (前札幌市長、弁護士) - 呼びかけ人代表
- 小椋山博さん (作家) ● 池澤夏樹さん (作家) ● 外岡秀俊さん (ジャーナリスト)
- 在田一則さん (北海道自然保護協会会長) ● 麻田信二さん (北海道生活協同組合連合会会長)
- 山崎栄子さん (北海道生活クラブ生協理事) ● 山形定さん (北海道新エネルギー普及促進協会理事長)
- 山本行雄さん (弁護士) ● 常田益代さん (北海道大学名誉教授)
- 新藤大次郎さん (北海道の未来を拓く会会長) ● 高木晴光さん (黒松内ふなの森自然学校代表)
- 穴戸慈さん (北海道子育て世代会議共同代表) ● 岡村聡さん (北海道教育大学名誉教授)
- 小田清さん (北海学園大学名誉教授) ● 本田優子さん (札幌大学教授)
- 市川守弘さん (弁護士、泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会代表)

参加費：無料

(Zoomでのオンライン参加を希望の方は下記のアドレスに申し込んでください)

主催：核ゴミ問題を考える北海道会議

共催：泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会
skawahara1217@nifty.com お問い合わせ：川原茂雄 tel 090-8278-4990 fax 011-896-0642

「核」ゴミ問題を考える北海道会議の設立に向けて話し合う呼びかけ人ら 札幌市北区



核ごみ処分場 広く議論を

札幌で集会 前市長ら団体設立へ

「核のごみ(原発から出る高レベル放射性廃棄物)」の最終処分場選定について、道民が広く議論する場をつくる新たな団体が結成されることになった。設立に向けた準備集会が23日、札幌市内であり、呼びかけ人の研究者、弁護士、市民

団体の代表らが今後の方針を話し合った。

新団体は「核ゴミ問題を考える北海道会議」。選定プロセス第1段階の「文献調査」について「道民全体で考えなければならぬのに、寿都町と神恵内村の首長、議会の判断だけで決ま

る」と話した。集会には、前市長らから呼びかけられた呼びかけ人ら、札幌市北区の研究者、弁護士、市民

核ゴミ問題の国民的・道民的論議 と合意形成を！

- 処分地選定作業に入る前に、まずは国民的・道民的論議をするべきである！
- そのためには「核ゴミ処分法」の抜本的見直し（廃案）を！
- まずは全ての原発を止めて、廃炉すること！
- さらに再処理と核燃料サイクルを止めること！
- その上で、核ゴミ（高レベル放射性廃棄物と使用済み核燃料）の処理について考えるべき！

ありがとうございました

